

エーツー
AAsystem

RC駆体積算システム

スピード入力で正確数量！

積算基準は当たり前！実数拾いまでカバーする

簡単入力で演算時間はたった10秒！

コスト時代に欠かせない

RC 駆体積算ナンバーワンシステム!!

実効あるプログラムを
ご提案するAAsystem！

RC躯体積算システムのご紹介

RC造の積算にはシステムを使用するのは今や**当たり前前の時代**です。しかし使ってみると**様々な問題**があります。入力時間、適応範囲、操作性、積算基準など数え上げればいくらでも出てきます。私共が御提案しているRC躯体積算システムは**どんな図面**でも、**短時間(1日あれば十分です)**でしかも、積算基準はもちろん**実数拾い**でも鉄筋業者、型枠業者の拾いにも対応できます。鉄筋が少ない、型枠が合わないといった声はもう聞こえてきません。

ビフォー

アフター

今までの某社積算システムでは...

AASYSTEMの積算システムを使うと

- | | | | |
|-----------------|---|---|--------------------|
| ・拾いに1週間かかっちゃう | → | → | ・一日で拾えちゃうよ！ |
| ・専任者じゃないと入力できない | → | → | ・誰でも入力できますよ！ |
| ・この図面どーやって拾うの | → | → | ・図面どおりに入力できます！ |
| ・現場から～数量違うぞー！ | → | → | ・これで業者のごまかしも効かないね！ |
| ・などなどいっぱいありますね。 | → | → | ・当然収益アップです！ |

RC躯体積算システムのポイント

なぜ短時間？

断面を登録、平面配置、一括演算という入力の流れもひとつのポイントですが、配置規則がないので操作の流れがスムーズで、操作性が一貫しているのも時短の要素になります。
(例) 通り芯がなくても部材配置できます。部材どおしのぶつかりを判断して鉄筋の定着、引通し、型枠の控除を自動計算します。

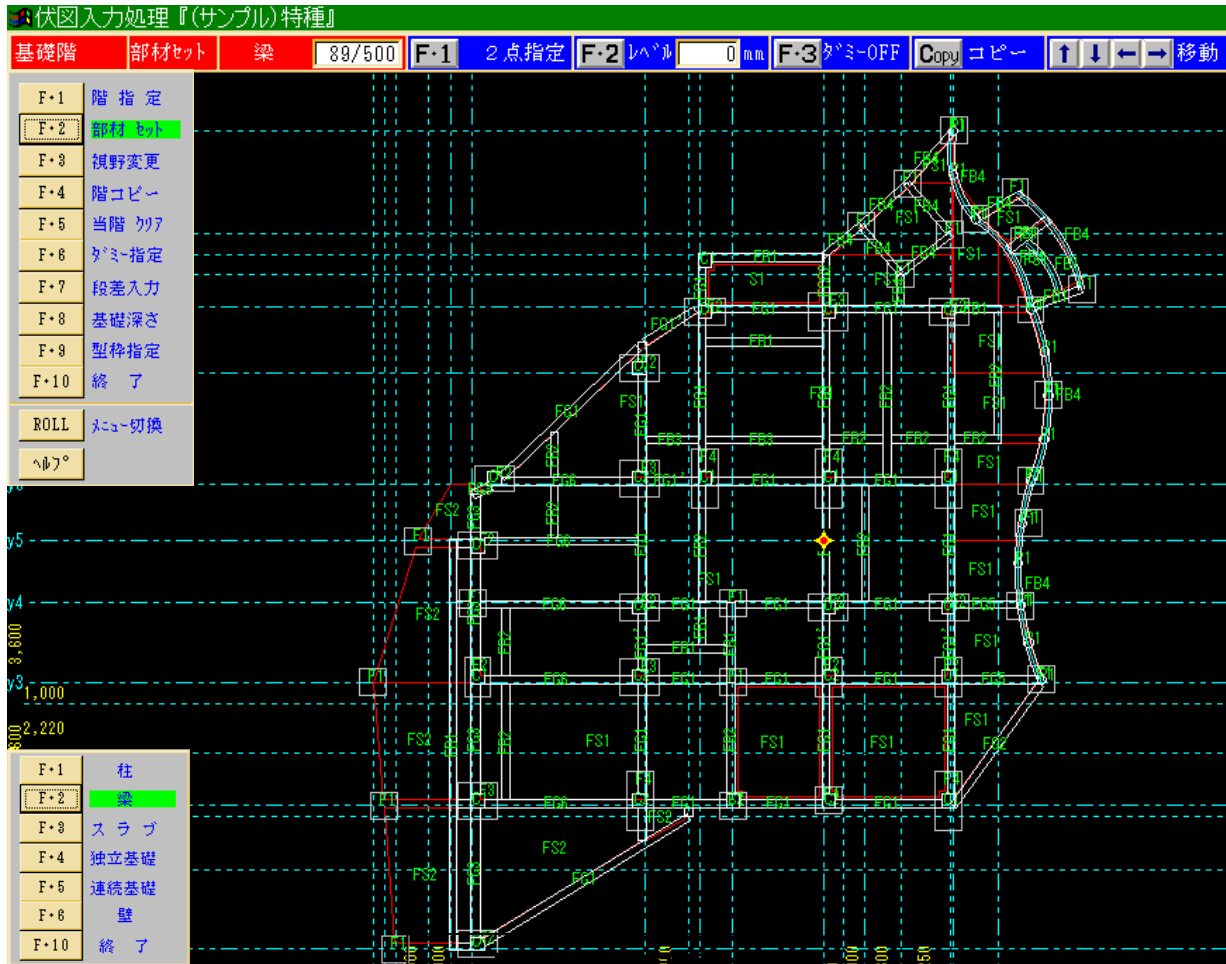
どんな図面でも入力できる？

平面配置ではどこでも部材配置が出来るので図面と同じように配置していただけます。他の積算システムでは「この部分は手で拾って」ということが多々ありますが曲面だろうが、斜めだろうが、立面でもセットバック、屋根の寄棟、切妻、複合屋根と何でも入力できます。

実数拾いなんてできるの？

まず型枠は仕口(柱と梁、基礎と地中梁、壁の小口など)や開口部について必ず控除するよう指示できます。鉄筋は定着長、定着位置の変更や異径圧接の仕分けなど細かく設定できそれに基づいて自動計算します。また、高強度せん断補強筋も自由に登録して自動拾いします。最近ではフープのフック、中子の巻いてる鉄筋もありますが実数で拾えます。

RC躯体積算システムの特徴



AASYSTEMのRC躯体積算システムは**柔軟な配置入力**を可能にしていますので図のような複雑な配置図でも手軽に入力できます。もちろんCADのような複雑な操作はいりませんので登録した**断面リストから選択**して配置します。その際、通り芯上はもちろん、**通り芯以外**のところでも自由に配置できます。また、基礎、柱の偏芯、梁の取り付きは簡単操作で可能です。もちろんその際の**内法寸法や鉄筋の定着、引き通し、型枠の控除**等はコンピューターが**自動計算**します。もちろん段差入力も自由自在に入力可能です。RC躯体積算システムの伏図入力は3次的に解釈していますので、スラブでは**二重でも三重**でも計測が可能です。

RC躯体積算システムの入力はマウスでもキーボードでも入力できるので入力スピードも格段にスピーディーです。また図面を忠実に入力できますので、どなたでも図面を写す感覚で積算できます。

RC躯体積算システムの断面登録

断面の登録では絵を使った**選択入力方式**ですので、**専門的な知識は必要ありません**。また高強度せん断補強筋の入力やフープなどの実長入力ができるので、中子のまいてる分やフックの余長も自由に入力できます。仕口入力も個別対応できますよ。これで詳細設定も図面通りに入力できます。

柱登録

寸法 Dx	寸法 Dy	主筋1	主筋2	柱頭	柱脚
600 mm	600 mm	12-D22	-D	12-D22	-D
		フープ1	D13	φ 100	実長 = +2400 mm
		フープ2	D10	φ 600	実長 = +1200 mm
		フープ3	D10	φ 600	実長 = +1200 mm
		フープ4	D		実長 = mm
		仕口部	D10	φ 150	実長 = +2400 mm
		D	D		実長 = mm

断面登録は設計図書をそのままうつし込む作業性ですので、どなたでも入力できます。**コピー機能が充実**してますので同一物件ならどこからでもコピーできますし、**概算的に使うなら**過去物件からのコピーもできます。図はパラペットですがどの部材でもイレギュラーな形をしていても簡単入力できます。
(例) 三角やL型の柱8角形の基礎など。

パラペット登録

寸法	単位	値	定数	補正
T1	mm	300	L1	4
T2	mm	150	L2	3
H1	mm	600	定数	-D
H2	mm	100	定数	-D
H3	mm	450	定数	-D

RC躯体積算システムの機能 I

伏図入力では部材配置だけでなく、各部材にふかしなどの雑の設定ができます。入力して即計算しますので、**その場で計算根拠を参照**できます。計算結果はその場で編集、追加、変更が可能ですので、図面の情報通りの入力が可能です。

伏図雑配置(梁)

スラブの雑セットでは**スラブ開口の計測**はもちろん、最近の施工物件で多く採用されている**中空スラブの計測**も可能です。もちろん他部材の雑セットと同じく計算結果の参照、追加、変更も思いのままです。

伏図雑配置(スラブ)

RC躯体積算システムの機能 II

区分No. = 2		開口	寸法 (mm)		開口補強筋			引通し筋	
入力レベル	固定	建具	w	h	縦(定着/引通)	横	斜	縦	横
断面No. W150	RC 枠アリ	AW-4	1900	1555	4-D13	4-D13	4-D13	-D	-D
W 5400 mm		AW-7	1600	900	4-D13	2-D13	2-D13	-D	-D
H 2900 mm					-D	-D	-D		
端部縦 2-D 13 -D					-D	-D	-D	差し筋	
端部横 -D					-D	-D	-D	D @ mm	
<< 壁接続部 縦補強筋 >>					-D	-D	-D	L= mm	
I型 I型 +型					-D	-D	-D	D @ mm	
ダブル	-D -D -D				-D	-D	-D	L= mm	
〃	-D -D -D				-D	-D	-D		
シングル	-D -D -D				-D	-D	-D		

壁の入力では立面で入力できるので壁の取り付け状況も目で確認できます。また、上下階の取り付く梁段差や増打ちを判断してますので、上下階との接続状況は画面上で確認できます。ですから配置したい断面だけを選べば鉄筋の定着や型枠(柱、梁小口)は自動計算します。また開口控除に関しては建具登録を行えばリストから選択して配置するだけでその分のコンクリート、型枠、鉄筋は自動控除します。開口補強もその際自動拾いします。RC躯体積算システムではラーメンだけでなく、壁式も拾えますので壁構造の建物はもちろん壁式とラーメンの複合でも同じ物件の中で拾えます。その際壁接合部の補強金は接合面の判断をプログラムが行い自動拾いします。

RC躯体積算システムの計算表

鉄筋コンクリート計算書

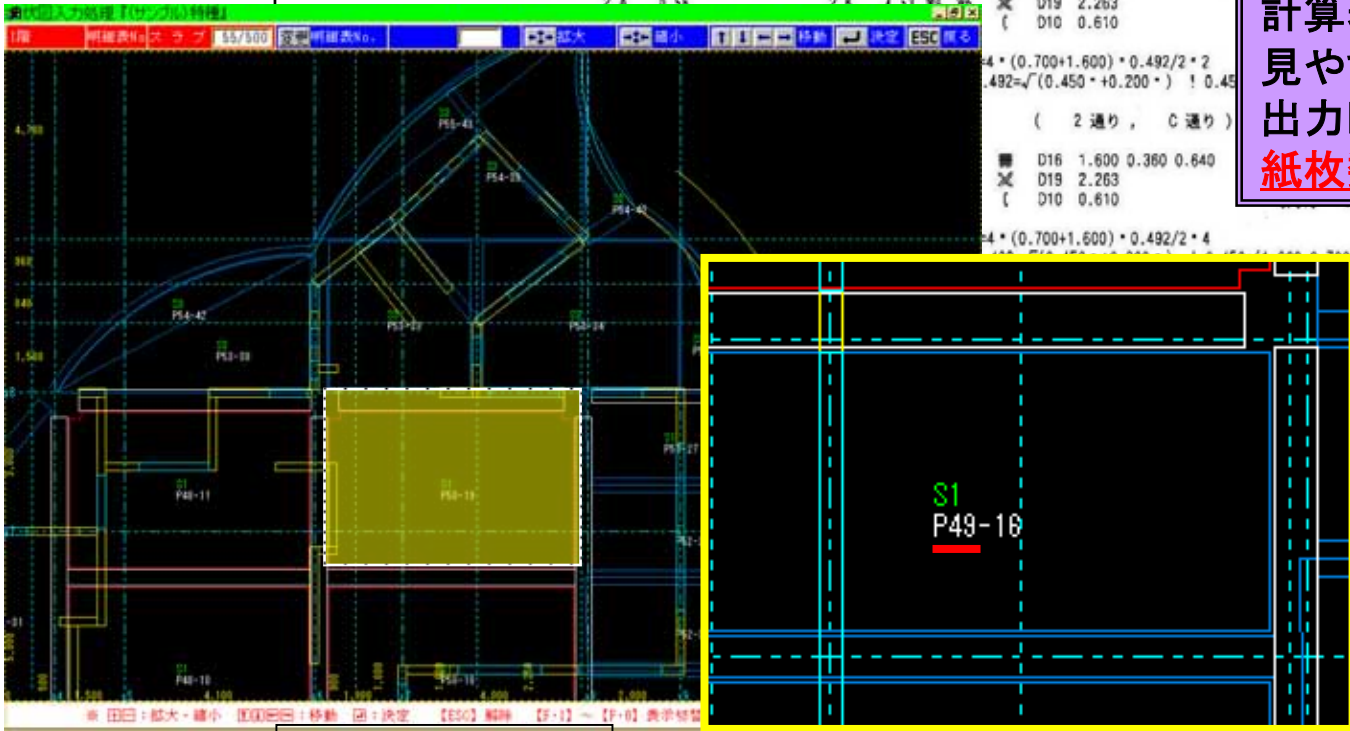
工事名称: SKビル新築工事2 平成 11年10月16日 No. 1

名称	コンクリート			型 枠		鉄 筋 (m)																				
	W	H	L ヶ所 (m ²)	W	H ヶ所 (m ²)	配筋形状	主長	定数/余長	継手	全長	本ヶ所	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32							
独立基礎 基礎層																										
F1 ×4			(1 通り, A 通り)			(4 通り, A 通り)				(1 通り, C 通り)				(4 通り, C 通り)												
	1.000	1.400	0.500	4 A	2.80	1.000	0.500	8 K	4.00	ベース	■	D16	1.400	0.360	0.640					2.400	12	4			115.20	
				4 A	0.73	1.400	0.500	8 K	5.60	斜筋	×	D19	1.721								1.721	6	4			41.30
								4 K	4.84	巾止め	└	D10	0.630								0.630	6	4	15.12		
	◆ 0.73=0.200 * ((2 * 1.000+0.700) * 1.400+(2 * 0.700+1.000) * 0.700) / 6 * 4					♥ 4.84=(2 * (0.700+1.000) * 0.403/2+2 * (0.700+1.400) * 0.250/2) * 4																				
	◆					! 0.403=√(0.350 * 0.200 *)					! 0.350=(1.400-0.700) / 2					! 0.250=√(0.150 * 0.200 *)					! 0.150=(1.000-0.700) / 2					
F2 ×2			(1 通り, B 通り)			(4 通り, B 通り)																				
	1.600	1.600	0.500	2 A	2.56	1.600	0.500	8 K	6.40	ベース	■	D16	1.600	0.360	0.640											
				2 A	0.56			2 K	1.12	巾	×	D19	2.263													
											└	D10	0.610													

計算表は公共工事にも提出OKの見やすい仕様です。またプリンター出力時は他メーカーよりも1/3の紙枚数で済むので経済的です。

鉄筋コンクリート計算表

伏図上に各部材ごとに計算表のページ番号が表示できますので、過去の物件でも確認作業に手間がかかりません。またお施主さんへも説明も効果的です。



伏図明細表示

- ・計測可能階層を50階層まで対応できます(合算処理可能)。
- ・壁式構造もこのシステムで計測可能です。もちろん、ラーメン、壁式混在でも可能です。
- ・鉄骨の基礎のみでも計測できるように設計してます。例えば各基礎柱の高さを設定、変更できます。
- ・1物件でコンクリート種を8種類、型枠種を12種類設定、計測できます。
- ・鉄筋の種類を3種類設定、計測できます。また極太筋(D35~D51)、高強度筋の使用が可能です。
- ・鉄筋の重量単位の変更、追加、高強度筋のメーカーごとの登録が可能です、また鉄筋のロス率の設定変更が鉄筋径ごとに可能です。
- ・仕口部分のフープのピッチ、形状のユーザー指定が可能です。(初期値は積算基準)
- ・鉄筋の定尺拾いが可能です。
- ・柱主筋の圧接で異径圧接と同径圧接を分けて拾うことが指定可能です。
- ・各部材で圧接径を個別に設定、変更可能(初期値はD19)です。
- ・伏図入力で画面の拡大、縮小が可能です。
- ・スラブ雑入力でスラブ開口、中空スラブの設定、計測ができます。
- ・伏図入力で梁の伸縮率が入力可能です。それに取り付くスラブも自動的に伸縮します。これにより勾配屋根や寄棟屋根が簡単に入力できます。
- ・伏図入力で部材配置後に部材断面の変更をしても「伏図データ再計算」ボタンで一発変更できますので面倒な作業は必要ありません。
- ・明細表(画面)で修正した内容が集計表に反映できます。
- ・集計表でトンかメーターの表示選択が可能です。
- ・各部材断面ごとに集計先項目の指定が可能です。また任意で集計先を追加できます。
- ・伏図上に明細表(計算表)のページと番号が各部材ごとに画面表示、印刷が可能です。